“ふるさとちば”のための政策推進を

つるおか　宏　祥
鶴岡ひろよし県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855　千葉市中央区市場町2番13号　電話 043(227)7411

一宮川の水害対策
長生ブルーライン実現を!

地域の導水路整備を要望

天然ガスと七夕の町、茂原市選出の自民党、鶴岡宏祥（つるおか・ひろよし）県議は、9月定例県議会の一般質問に登壇しました。この中で、鶴岡県議は一宮川の水害対策に関連し、既存排水路を活用して太平洋に至る長生広域導水路の整備を提言し、この導水路を「長生ブルーライン」と呼び、実現に向けての検討を強く要望しました。そのほか、圏央道と外房地域を結ぶ「長生グリーンライン」の早期整備の重要性も訴え、事業区間の進捗状況などをただしました。ドクターヘリの夜間運航を求める鶴岡県議の問題提起など、地域の課題を特集しました。

9月県議会一般質問に登壇

本会議場に登壇した鶴岡県議

抜本的な治水対策

鶴岡議員　一昨年10月、一宮川流域では、一宮川や阿久川が氾濫し、茂原市街地において甚大な浸水被害が発生したことは、皆さんご承知のことと思います。茂原の住民が安心して暮らせるよう、抜本的な治水対策が必要であることは言うまでもありません。

そこで伺います。一宮川中流域における整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長　一宮川中流域のうち、河道内を掘削し、護岸整備する区間では、護岸工などに着手しています。また、用地買収して川幅を広げる区間では、今年度、橋梁架換工事などを実施することとしており、この二つの区間の整備を令和6年度に完了させることを目指してまいります。

それに加えて、治水効果の早期発現を図るため、洪水の一部を一時的に貯留する一宮川第二調節地については、今年8月末に暫定供用を開始したところであり、令和5年度に完了させることを目指してまいります。

流域治水の進捗状況

鶴岡議員　一宮川における流域治水の進捗状況はどうか。

熊谷知事　気候変動に伴う豪雨の激甚化・頻発化に備え、流域のあらゆる関係者が協働して浸水被害の軽減を図るため、令和3年3月に一宮川水系流域治水プロジェクトを策定したところです。

この流域治水プロジェクトに基づき、河川整備とともに、流域対策として中流域の茂原市において、内水対策や田んぼダムの試験施工、上流域の長柄町及び長南町においては、浸水被害を減少させるための対策の検討などが行われています。

要望　**圏央道から長生地域への高規格道路・長生グリーンラインに対し、地元では長生広域導水路を長生ブルーラインと呼んで、期待が高まる一方です。知事は「防災日本一」を随所で言われていますが、この導水路、長生ブルーラインは長生地域の水害対策にはどうしても必要なものと考えています。実現に向けて検討いただくよう強く要望します。**

長生グリーンラインの進捗

鶴岡議員　圏央道の全線開通の効果を外房地域に広く波及させるためには、圏央道と外房地域を結ぶ長生グリーンラインの早期整備が必要です。長生グリーンラインの事業中区間の進捗状況はどうか。

県土整備部長　長生グリーンラインは、圏央道の茂原長南インターチェンジから広域農道までの6・5キロ区間で整備を進めており、これまでに圏央道側1・5キロを供用しています。

現在、長南町道から広域農道までの5キロ区間の用地取得率は約8割となっており、このうち用地取得が完了している長南町道から県道茂原大多喜線までの2・5キロ区間で、橋梁の下部工事や道路改良工事等を進めているところです。引き続き、同区間について、令和5年度の供用を目指し、事業を推進してまいります。

鶴岡議員　広域農道から一宮町までの事業化に向けた取り組み状況はどうか。

県土整備部長　広域農道から一宮町までの約4キロ区間については、現在、関係機関と協議を進めており、今年度中に道路構造などに関する地元説明会を開催する予定です。

要望　**事業中区間の終点部である広域農道の交差については、地元から立体交差の要望があり、続く宮町まで延伸する際には、ノンストップで通過できる立体交差が望ましいと考えます。現時点の用地取得において、これらを考慮すれば手戻りもないと考えます。ついては、長生グリーンラインの広域農道との交差部については、立体交差を考慮して用地を取得するよう要望します。**

地域の思いを県政に

●茂原市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

鶴岡ひろよし　県議事務所
〒297-0037　茂原市早野2130　TEL.0475(27)2601/FAX.0475(26)2839

鶴岡県議の一般質問：詳しくは千葉県議会のHPをご覧下さい。検索　千葉県議会 → インターネット中継（録画） → 鶴岡宏祥

千葉リハビリセンター　再整備の基本設計に向け

自立支援室も整備へ

鶴岡議員　千葉リハビリテーションセンターは、開設から約40年が経過し、老朽化や狭隘化が課題だとかねてから申し上げてきました。その甲斐があったかもしれませんが、県では基本設計に取り組んでいるところであり、新しいセンターに大変期待を寄せているところです。

同センターについて、再整備に係る基本設計の進捗状況はどうか。

健康福祉部長　県では、昨年12月に基本設計に着手し、建物の規模、フロア別の部署の配置、大型医療機器等の設置のための構造などについて検討を進めており、本年12月に完了させる予定となっています。

設計では、現場スタッフの意見を取り入れながら進めており、車イス等の利用者の上下階の移動を少なくできるよう、フロア当たりの面積を広く確保し、低階層の建物とすることを検討しています。

鶴岡議員　再整備を機に、早期の家庭復帰に向けた更なる取り組みが必要だと思うがどうか。

健康福祉部長　県では、利用者が早期に家庭や社会に復帰することができるよう、再整備に当たっては、利用者の療養環境をより充実させることとしています。

そのため、基本設計ではリハビリテーションを行う療法室の拡充を図るともに、退院後の日常生活を見据えた訓練ができるよう、浴室やトイレ、キッチン等を備えた自立支援室の整備を検討しています。

県としては、こうした施設整備等により、実践的なリハビリテーションの提供をさらに充実させてまいります。

感染防止対策をした壇上に立つ鶴岡県議

ドクターヘリ　夜間運航の実現へ提言

24時間運航の課題

鶴岡議員　ドクターヘリは現状、夜間の運航が実現していないということは、夜間特有の課題があるのだと思いますが、救急医療体制のさらなる充実のためには、課題を解消して、ぜひ24時間運航を実現してもらいたいと思っています。

ドクターヘリの運航について、現在のドクターヘリの運行状況はどうか。

保健医療担当部長　現在、本県におけるドクターヘリの運航は、原則として午前8時30分から午後5時30分、または日没30分前までとしています。

令和2年度における県内基地病院からの出動回数は、1381回で、1日平均約3・8回と、本県の救急医療体制の充実に大きく寄与していると認識しています。

鶴岡議員　ドクターヘリの24時間運航に関する課題に、県はどのように対応していくのか。

保健医療担当部長　ドクターヘリの夜間運航は、安全確保の観点から、操縦士等を複数名体制にするなど、人員の確保や夜間の離着陸及び運航に対応した機材整備などに課題があるところです。

これらの課題については、国が設置した「救急・災害医療提供体制等の在り方に関する検討会」で検討されていると聞いています。

県としては、国に対し夜間運航も含めた24時間運航に関する検討を進め、必要な施策を推進するよう、繰り返し要望しているところです。

要望　**県のどこに住んでいても平等に救急医療にアクセスできる環境を整えることはとても重要なので、国に夜間運航に関する課題の整理をさらに進めるよう、県から強く要望していただくようお願いする。**

小規模農家への支援を

鶴岡議員　県は、小規模農家をどのように支援していくのか。

農林水産部長　小規模農家は、地域の農業生産や農地の維持において、大きな役割を果たしています。経営規模が小さく、労力が限られる小規模農家が持続的に営農していくためには、農業所得の増加や農作業の共同化などを進める必要があります。

このため県では、直売所等で販売する新たな特産品の生産や加工品の開発のほか、地域の農家が協力して営む集落営農組織の育成支援に取り組んでいるところです。

国は昨年、新たな「食料・農業・農村基本計画」を定め、経営改善を目指す農業者を幅広く支援していくこととしています。県としては、国の動向を注視しながら、小規模農家の支援に努めてまいります。

要望　**小規模農家を含めた多様な担い手を意識して支援を図り、担い手の確保につながる取り組みを行うよう要望します。**

阿久川と赤目川整備

鶴岡議員　一宮川の支川である阿久川整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長　阿久川では、獅子吼橋から市兵衛橋までの1・8キロ区間において護岸工事を実施しています。このうち、獅子吼橋から上流側0・2キロの整備が完了しており、さらにその上流側1キロ区間の用地については、今年6月に用地取得が完了したところです。

鶴岡議員　赤目川における整備の進捗状況はどうか。

県土整備部長　赤目川では、南白亀川合流点から上総橋までの7・7キロ区間で整備を進めてきており、これまでに南白亀川合流点から萱場橋までの4・2キロ区間の河道拡幅とその上流側右岸にあるB調整池を完了しています。

今年度は、B調整池の対岸に整備するA調整池の掘削工事及び、新手樋橋の架け換え工事を実施しているところです。

県道の交差点改良

鶴岡議員　県道正気茂原線の茂原市六ツ野地先と千町地先における交差点改良の進捗状況はどうか。

県土整備部長　同交差点では、朝夕を中心に渋滞が発生し、歩道も狭いことから、右折レーンの設置と歩道整備を行うこととしており、現在、用地取得を進めているところです。

また、千町地先の交差点では、2つの丁字路交差点が近接し、見通しが悪く、歩道もないことから、交差点改良と歩道整備を計画しており、今年度は測量と詳細設計を実施しているところです。

早野地先の交通対策

鶴岡議員　県道茂原大多喜線、茂原市早野地先の交通対策の進捗状況はどうか。

県土整備部長　同地先における県道と市道のとの交差点では、朝夕の時間帯を中心に渋滞が発生していることから、茂原市と連携して右折レーンを設置する改良事業を進めています。

現在までの用地取得率は約3割となっていますが、今年度は整備に必要な用地全体の約4割に相当する物件について、用地取得に向けた物件調査を進めているところです。